

長崎総科大の水中ロボ 金賞

県内の大学生や高専生らが「ものづくり&アイデア」を競うコンテストが12日、長崎市内であり、船舶修繕や養殖業で利用できる安価な水中ロボットを開発した長崎総合科学大のチーム「NiAS水中ロボット」が最優秀の金賞を獲得した。

ものづくり&アイデアコンテスト

同市に本社がある亀山ユニークな発想に熱心に電機が地域貢献を目的に毎年開催し、今年で8回目（長崎新聞社など後援）。「ものづくり」「アイデア」の各部門または両部門に長崎総合科学大、長崎大、県立大、佐世保高専から計9チームが参加した。

学生らは、高齢者らのためのごみ捨て代行システムや、わずかなキズで廃棄される花「ロスフラワー」の活用など、生活やビジネスに着目したアイデアを発表。審査員は

他の受賞チームは次の通り。

- ▽銀賞 フィロカール（佐世保高専）▽銅賞 QSHIBU（同）▽長崎新聞社賞 しゅがらば15号（長崎総合科学大）▽NC賞 Youth Works（佐世保高専）▽NIB賞 RTA（同）



開発した水中ロボットについて発表する奥田さん（前）と島添さん

長崎市油木町、市科学館